

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	TX沿線整備地区の字の区域の名称変更事業			会計	款	項目	大専	小専
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）		01	02	01	17	01
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営		01	02	01	17	01
				主管課	総務課			
				主管課長	早川 仁			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	TX沿線5地区の土地区画整理事業に係る字の区域及び名称	意図	土地区画整理事業の換地処分に併せ、字の区域及び名称の変更を行うことで、行政区域の整備を図る。
事業内容	平成28年度においては、木地区の字の区域及び名称の変更に当たり、流山市行政区域審議会を開催してその答申を得て、それを元に市議会の議決を得るための議案提出の準備を進めた。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> ・新市街地地区…字の区域及び名称の変更の議決を得ている。 ・西平井・鰯ヶ崎地区及び鰯ヶ崎・思井地区…字の区域及び名称の変更の議決を得ている。 ・木地区…行政区域審議会を開催し、その答申を得た。 ※今後も各地区の事業の進捗状況に併せて進めていく。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	行政区域制度審議会開催回数		3	3	回	→→	
②	市議会への議案提出		1	0	回	→→		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 新市街地地区、西平井・鰯ヶ崎地区及び鰯ヶ崎・思井地区は、議決結果を踏まえ、換地処分の公告後の手続に向けた準備を進める。 木地区は、字の区域及び名称の変更案を元に、行政区域制度審議会を開催し、答申を得た。また、市議会の議決を得るための変更調書等作成業務委託を契約し、作業を進めた。	
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		6,063,900	8,133,400	6,375,400				
事業費(b)(円)		605,000	2,109,400	883,400				
うち一般財源		605,000	2,109,400	883,400				
職員給与費(c)(円)		5,458,900	6,024,000	5,492,000				
人役・職員(人)		0.79	0.80	0.80				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	木地区の字の区域及び名称の変更について、行政区域制度審議会を開催し、その答申を得て、議案提出の準備を進める。	③取組の課題	新市街地地区等は、換地処分の時期が平成30年度末に延伸されたため、それに対応した準備を進める必要がある。
②今年度(H28)に実施した取組	木地区の字の区域及び名称の変更について、行政区域制度審議会開催し、その答申を受けた。また、市議会の議決を得るための変更調書等の作成を進めた。	④今後の改善計画	木地区の字変更については、平成29年第3回定例会に議案を提出する。新市街地地区等については、換地処分に係る情報収集を行い、平成30年度末の換地処分に向けた準備を進める。